

公益目的事業1(定款第4条)

頁

1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	① 図書情報室の運営	8
	(2) 図書事業	① ブックフェア及び市立図書館等との連携	
		② 男女共同参画パネル展と上映会	
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信	10
		② 啓発誌・講座案内の発行	
		③ ポスター掲示・広告掲載	
2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	① 「男女共同参画“はじめの一歩”BOOK」作成(隔年)*今年度発行なし	12
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 啓発事業及び学習支援	① みんなで考える男女共同参画講座	13
		② 男性の家事・育児参画講座	14
		③ 女性の就業継続支援講座	15
		④ 男性向け講座	16
		⑤ DV予防講座	18
		⑥ 性教育ワークショップ	20
		⑦ ジェンダー論基礎講座	21
		⑧ 短歌で読む・詠む「わたし」の「からだ」	
		⑨ デジタル分野における女性活躍推進セミナー	23
		⑩ 不安を抱える女性を対象とした就業支援事業	25
	(2) 企業・大学・地域との連携事業	① 性暴力被害者支援事業	27
		② 女子大学生と考える女性活躍	29
		③ LGBT等居場所づくり (コミュニティスペース及び個別相談会)	30
	(3) 教養・健康増進事業	運動講座 ① うた講座 その他教養講座	32
	(4) 保育事業	① 事業参加者の保育 施設利用者の保育	33

公益目的事業2(定款第4条)

			頁
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 女性のための相談	34
		② 男性のための相談	
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援事業	35
		② トラウマケアのための読書会	36
		③ 大学相談室派遣事業	37
		④ 相談員研修	
		⑤ 他機関の相談受託	38
		⑥ 不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業	
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	① 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	41

公益目的事業3(定款第4条)

			頁
5. 男女共同参画に関する市民の 活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の 促進事業	① センター利用者や地域との 協働事業	42
		② パープルリボンの取り組み他	43
	(2) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	45
		② 防災における男女共同参画の視点 を持った人材育成講座	47
		③ 共催・後援事業／講座受講生の グループ育成	49
	(3) 京都市男女共同参画センター の目的利用団体に対する 施設管理業務		50

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センター の目的利用団体以外に対する 施設管理業務	52

財団運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	53
財務運営	55

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供			条項	第1号
事業名	(1)図書資料の収集と提供／(2)図書事業			総合窓口課	
講座名	(1)①図書情報室の運営／(2)①ブックフェア及び市立図書館等との連携 ②男女共同参画パネル展と上映会				
目的	男女共同参画を推進する拠点施設としての情報収集・発信				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	980	1,006	△ 26		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>(1)男女共同参画に関する情報・資料の収集 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施</p> <p>(2)①ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展) ②男女共同参画に関するパネル展と上映会の実施</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 若年層利用者の開拓に向けたSNSを活用した情報提供

■実績

1. 男女共同参画ブックフェアの開催

① 男女共同参画週間

「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。」
6月6日(火)～7月7日(金)

② 国際ガールズデー

「10月11日は国際ガールズデー」 9月21日(木)～10月24日(火)

③ パープルリボン月間

「暴力にはNO!を言い続けようージェンダーの視点で暴力を考えるー」
10月26日(木)～12月1日(金)

④ 国際女性デー

「国際女性デー2024」 2月20日(火)～3月25日(月)

2. 男女共同参画パネル展の開催

① 男女共同参画週間 パネル展 6月15日(木)～7月3日(月)

② コミックフェア 「コミックとわたしとジェンダーと」 7月22日(土)～8月7日(月)

③ 国際女性デー パネル展 2月23日(金)～3月15日(金)

3. ミニブックフェアの開催

「2024年 蔵出し!短歌まつり!!」など 4回

4. 京都市立図書館との連携

京都市市立図書館に、ブックフェアで使用したブックリストとパネルのデータを提供した。

① 男女共同参画週間 (9館)

② 国際ガールズデー (6館)

③ パープルリボン月間 (1館)

④ 国際女性デー2023 (12館)

5. 映画上映会

① 上映作品 「ビリーブ～未来への大逆転～」

実施時期 6月23日(金)・24日(土) 4回上映 のべ57人

② 上映作品 「SNS 少女たちの10日間」

実施時期 10月6日(金)・7日(土) 4回上映 のべ50人

③ 上映作品 「ミートゥー・ムーブメント」

実施時期 3月8日(金)・9日(土) 3回上映 のべ27人

<別紙1>「2023年度 図書資料の収集と提供」(p.58)

■概要と成果

ブックフェアで使用したブックリストとパネルのデータを、館内の図書情報室での展示にとどまらず、市立図書館に提供することで、より多くの市民に向けた啓発の機会となった。

パネル展「コミックとわたしとジェンダーと」や映画上映会では、それぞれ所蔵しているコミックやDVDを広く周知することが出来た。映画上映会は、映像というアプローチからジェンダーについて考える企画であり、毎回好評であった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(3)情報発信事業		事業企画課		
講座名	①インターネットでの情報発信／②啓発誌・講座案内の発行／③ポスター掲示・広告掲載				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	3,077	3,265	△ 188		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ① ・ ホームページの更新(随時) ・ メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外)／ Facebook・Twitter・note(随時) ② ・ 啓発誌「男女共同参画通信」の発行 年2回 各17,000部 ・ 講座案内「ウイングスきょうと」の発行 年6回 各 7,000部 ③ ・ DV啓発ポスターの掲示・新聞への広告掲載
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定

■実績

<p>①・ホームページ 年間閲覧数 314,264回／ユーザー数 89,360人(うち新規84,513人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジン 登録者数 3,362人 ・Facebook いいね数689人／フォロワー736人／最大リーチ1,867人 ・X(旧Twitter) フォロワー数 1,822人(163人増) <li style="padding-left: 20px;">1ツイート最大のインプレッション(表示回数) 27,837回 <li style="padding-left: 20px;">1カ月の最大インプレッション(表示回数) 37,430回 <li style="padding-left: 40px;">※プロモインプレッションを除く ・note「gender eye」 1件記事を更新した。 <p>②・啓発誌「男女共同参画通信」は、vol.56「やってみよう、“第三者介入”」(17,000部)、vol.57「男性の性被害」(17,000部)を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座案内「ウイングスきょうと」は偶数月の1日に発行した。 <p>③・DV啓発ポスターの掲示・新聞への広告掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)リビング京都新聞 10月28日号 京都市全域エリア 468,500部 (2)京都市地下鉄の車内吊ポスター 270部 掲載期間11月1日～30日 1ヵ月間

■概要と成果

- ①・ホームページはアクセシビリティJIS X 8341-3:2016「AA」準拠を維持。アクセス解析について、旧Google AnalyticsからGA4に移行した影響により数値は参考程度。ユーザーの年齢は、44歳までの層が全体の7割を占め、25～34歳までが特に多い。また性別で見ると男性43.3%、女性56.7%となっており、WEB媒体では、若年層や男性にも情報を届けられている。アクセスされているページの上位25位内では、「つながる相談室」と「男性相談」が4ランク、「ジェンダー論基礎講座」18ランク上昇した。また、「KYOTOわたしの防災ノート」「GENDER HANDBOOK 性的同意」「きょうとみんなの防災カード」は発行から年を経てもランクインし続けている。
 - ・メールマガジンは登録者数が昨年度より989人増えたが、管理が煩雑となっており、新たな配信システムの検討が必要である。
 - ・Facebookのフォロワーは700人を超え、X(旧Twitter)のフォロワー数も順調に増えており、新規フォロワー数は前年度の1.3倍増となった。
 - ・note7月15日・29日の2日間に開催したワークショップ「短歌で読む・詠む『わたし』の『からだ』」の第2回の「歌会」において、公開を許可していただいた一部の参加者の短歌をnoteに掲載した。
- ②・啓発誌「男女共同参画通信」vol.56「やってみよう、“第三者介入”」では、まだあまり知られていない第三者介入について、どんな場面でどのように介入すればいいのかわかりやすくイラストを用いて解説し、行動することが性暴力の防止につながるということを伝えた。イラストによる解説はイメージしやすく分かりやすいと若年層にも好評であった。vol.57「男性の性被害」について、男性の性被害が実際に存在しているにも関わらず、思い込みによって被害を見えなくさせている現状を伝え、新たな被害を生まないための気づきや専門家のインタビューを掲載した。男性の性被害についてタイムリーに話題を提供できた。
 - ・講座案内「ウイングスキょうと」はウイングスで実施する講座・イベント・啓発誌の発行の情報を掲載し、公共機関などに配布し、当センターの事業を広く周知した。
- ③DVについて市民に広く周知するため、生活情報誌として発行部数が多いリビング京都の広告欄に「あなたがいつも我慢していませんか？チェックリスト」及び「11月パープル月間イベント」を掲載した。また、「パートナーとの関係は対等ですか？」と「男性のための電話相談」を掲載したポスターを京都市地下鉄に車内吊し、DV防止を啓発した。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」作成(隔年) *今年度発行なし				
目的	男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、ジェンダーの視点で調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	30	3	27		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 次年度発行に向けた編集会議の実施及び国内外の調査報告書のデータの把握

2. 事業実施における課題

- ・ 既刊した「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」の改善点の把握
- ・ 出前講座等における効果的な活用方法

■実績

- ・ 「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」を出前講座や定期講座で実際に使用し、次回の発行に向け、改善点を確認した。

■概要と成果

リニューアルによって冊子に親しみを持ってもらえるようになったが、データの見せ方などに課題もあるため、次回の冊子作成の際に改善する。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	①みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学び、自らのジェンダーに気づく講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	160	24	136		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期講座 一般市民向け基礎講座(年4回 ウィングス京都にて実施) ・ 出前講座 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定) 〈講座テーマ〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画とは ・ 男女平等教育を考える ・ DVを知る・考える ・ セクシュアル・ハラスメント ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画 ・ LGBTってなに？
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に男女共同参画の基礎を解説できる人材の育成

■実績

<p>年間24回の講座を実施し、734人の参加となった。また講座とは別に23件の学習相談に応じた。 <別紙2>「令和5年度『みんなで考える男女共同参画講座』実施一覧」(p59)</p>

■概要と成果

<p>出前講座では、大学や行政からの連続講座や事例紹介、イベントでのワークショップなどの基本の講義内容とは異なる依頼(有償対応)が増加した。防災カードに関連したジェンダーの学習について他府県からの問い合わせが多かった。ワーク・ライフ・バランスをテーマとした職場研修では、多様な価値を受容する職場になるために何が必要かを考え、参加者のモチベーションを高めることができた。今後も新たなニーズへの対応を積極的に行い、より効果的な学びの場を提供していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	②男性の家事・育児参画講座				
目的	男性が家事・育児を行うことの重要性を伝えるとともに、自身のワーク・ライフ・バランスを考える機会とする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	211	90	121		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 名もなき家事を見える化させることで、家庭での役割分担の現状を把握し、パートナーとの対話をとおして、男性が家事・育児分担や今後の生活を見直す講座を実施する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 男性の家事・育児への参画を、一時的なものではなく日常的なものにするための意識づけ

■実績

<p>子育てパパ応援セミナー カードゲームでワクワク楽しい子育て生活を始めよう 回数(1)定員(20組40名) 応募者数(31) 参加者数(9組22名 ※4人はシングル参加) 定員充足率(55%) 【日時】 5月20日(土)13:00~15:00 【講師】 高木駿 (主夫ラボ主宰) 【内容】 家事・育児・仕事のトラブルを分担しながら解決していく対話型のカードゲーム「カジーグジー」を使って、2人がお互いの得意と不得意を理解して、家族生活を本音で話し合い、納得のいく分担を実現することを学ぶ。ゲーム終了後、講師がワンオペ育児の体験談と夫婦の家事育児の分担の方法を解説。</p>
--

■概要と成果

<p>子育て中の男性を対象に「カードゲーム」を使った家事・育児に関する講座を実施した。男性対象講座だが、妻との同伴も可としたため夫婦で参加された方が大半であった。対話型のカードゲームのため、普段言いづらいこともカードを通して伝えることが出来、今後の家事・育児の分担を話し合えるきっかけとなった。一方で応募はしたものの当日夫の仕事の都合や子どもの体調不良で9名のキャンセルがあった。子育て中の方を対象とした講座では想定内のため、今後は当日キャンセルを見越した定員の設定なども検討していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	③女性の就業継続支援講座				
目的	女性が育児と仕事をバランス良く両立できるための就業継続支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	296	197	99		

■事業の計画

1. 実施内容

- 産休・育休中の女性を対象に、安心して職場復帰し、主体的にキャリア構築できる講座を実施する(全3回)

2. 事業実施における課題

- 就業継続のための意識付けとパートナーをはじめ職場関係者との円滑なコミュニケーションについて主体的に考え、実際に行動に移すための働きかけ
- 受講生同士の情報交換と交流の場の提供

■実績

働く女性を応援！産休・育休からの職場復帰準備講座

【講師】畠中直美(一般社団法人チャレンジドLIFE代表、キャリアコンサルタント)

回数(3) 定員(15) 応募者数(18) のべ参加者数(33) 定員充足率(73%)

①私のワーク&ライフを考える。不安や“もやもや”を言葉にしてみよう。

【日時】9月14日(木)14:00～16:00 参加者数(13)

②復帰後のイメージを掴もう。コミュニケーションのヒント。

【日時】9月21日(木)14:00～16:00 参加者数(10)

③みんなで話す交流会

【日時】9月28日(木)14:00～16:00 参加者数(10)

【ゲスト】真下美奈子(ピープル株式会社 新事業開発部チームリーダー)・芳野尚子(オトナリラボ代表)

■概要と成果

子育てしながら職場復帰する不安の解消を主軸に、復帰後に起こりうるシチュエーションのグループワークを取り入れ、職場・家庭におけるコミュニケーションのヒントを与えた。育休中の不安や悩みについて共有するだけではなく、具体的な対処法・解決策を提示したことによってより“未来の自分”についてイメージすることができ、参加者自身が中長期的なキャリアを考えることで就業継続を促すという目標を達成することができた。参加者から復帰後の悩みを共有する機会が欲しいとの意見もあり、復帰後の生活や気持ちの変化などにフォーカスした講座について需要があると感じた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	④男性向け講座				
目的	男性がジェンダーに向きあい、ジェンダーの視点で自身のあり方を見つめ直す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	271	29		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 男性が参加者同士の語り合いを通して、自身のジェンダーに気づく機会を提供する

2. 事業実施における課題

- ・ 男性の参加につながる広報
- ・ 男性が安心して語れる場づくり

■実績

生きるのが今よりちょっとラクになる？男性のための“がんばらない”コミュニケーション回数(3)

【対象】テーマに関心のある男性

【ファシリテーター】全3回 足達龍彦(場づくりカレッジ「えすけーぶ。」代表)

①ゆるゆる話そう 人間関係＝「しんどい」?

定員(15) 応募者数(15) 参加者数(13) 定員充足率(80%)

【日時】10月8日(日)12:30～14:00 @源湯 湯上りスペース

②“がんばりすぎ”なコミュニケーションに潜むジェンダーとは?

定員(20) 応募者数(19) 参加者数(15) 定員充足率(75%)

【日時】10月22日(日)13:30～15:30 @ウイングス京都

【ゲスト】福島充人(一般社団法人日本男性相談フォーラム代表理事、臨床心理士、公認心理師)

③生きるのがラクになる！？職場や家庭でのコミュニケーションの秘訣

定員(20) 応募者数(25) 参加者数(15) 定員充足率(75%)

【日時】12月3日(日)13:30～15:30 @ウイングス京都

【ゲスト】あつたゆか(株式会社すきだよ代表取締役)

■概要と成果

同一のファシリテーターが場づくりをした点や開催場所を銭湯にしたり、コーヒーのふるまいで和んだ雰囲気を作るなど工夫を積み上げたことによって、場の安全性を高めることができた。

全3回を通して「コミュニケーション」にまつわる近しい悩みを持つ人同士が語り合う場を作ることができ、難しさや個人的な想いをシェアし、「自分だけではない」と分かることで得られる楽になる感覚を提供できた。

また、普段は語り合う機会の少ない「弱さ」に触れるテーマについて個人的な経験や考えを話し合う場にニーズがあることがわかった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑤DV予防講座				
目的	DVや性暴力根絶のために、若年層に向けた予防教育をはじめ、関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	221	169	52		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 関係機関や高校・大学等と連携しDVやデートDVの予防講座を実施する

2. 事業実施における課題

- ・ 啓発先の拡充、対象となる機関との連携

■実績

デートDV予防講座

①対等な関係をつくるために 回数(1) 参加者数(14)

【日時】10月14日(土)10:00~11:30

【講師】小畠麻理 近藤凜太郎(ウィメンズネット・こうべ)

【対象】京都府立洛北高等学校 中学生(付属中学)・高校生

②「デートDVの理解と対等な関係性性の権利とウェルビーイングの保障のため」
回数(1) 参加者数(791)

【日時】10月23日(月)15:20~16:20

【講師】関口久志(“人間と性”教育研究協議会幹事、元京都教育大学教授)

【対象】京都府立京都すばる高等学校 1年生~3年生710人 PTA5人 教員76人

③「デートDVの理解と対等な関係性性の権利とウェルビーイングの保障のため」
回数(1) 参加者数(91)

【日時】11月12日(日)10:50~12:00

【講師】関口久志(“人間と性”教育研究協議会幹事、元京都教育大学教授)

【対象】京都府立朱雀高等学校通信制課程 1年生~5年生76人 教員15人

④いい人間関係になるコツを学ぼう ~デートDVの話を中心に~
回数(1) 参加者数(63)

【日時】2月15日(木)14:20~15:10

【講師】伊田広行(非暴力ルーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師)

【対象】京都市立中京中学校 2年生

⑤いい人間関係になるコツを学ぼう ～デートDVの話を中心に～

回数(1) 参加者数(117)

【日時】2月27日(火)14:20～15:10

【講師】伊田広行(非暴力ルーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師)

【対象】京都市立西京中学校 2年生

■概要と成果

①②③とも高校生を対象に実施した。①ではデートDVに関する役割劇を用い生徒が実際に演技を行ったが、演じる方も見ている方も真剣で講義とはまた違う学びの場を提供できた。②③は講師が高校教員時の高校生の実例を多く用いて話したことで、生徒たちはデートDVを身近に感じることができ、講師からの質問に対しても生徒同士が活発に意見交換しながら考えていた。

④⑤は中学生を対象に実施した。DVの基礎知識をもとに、広がりのある授業で大変好評だった。他人と自分が、「ゆで卵のように独立した存在で、お互いの意見を尊重する自立した関係であるか」、「炒り卵やスクランブルエッグのように混ざり合って、意見が力の強い方に引きずられる関係か」という例えは、イメージしやすかったのか、多くの生徒がそれをヒントに自身の今の人間関係を省みたり、望ましい人間関係について考えていた。互いを尊重すること、それぞれを個として認識することの重要性を理解する機会を提供できた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑥性教育ワークショップ				
目的	男女がお互いの身体的特徴を理解し、お互いに尊重し、健やかに社会で暮らすことができるよう、若い世代に性に関する正しい知識を伝えられる社会をつくる				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	30	28	2		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 若い世代から性について正しく理解することができるよう周囲の大人が性の正しい知識を学べるワークショップを実施する

2. 事業実施における課題

- ・ 包括的な内容の性教育

■実績

大人だって分からない?!子どもたちの“性”の疑問にどうこたえる?ワークショップ
回数(1) 定員(20) 参加者数(22) 定員充足率(110%)
【日時】1月20日(土)13:00~15:00
【講師】山村和恵(立命館守山中学校・高等学校 養護教諭)
大月隆生(立命館守山中学校・高等学校 スチューデント・サポーター)
【対象】思春期の子どもと関わる機会のある大人 ※テーマに関心のある人

■概要と成果

対象を「思春期の子どもと関わる機会のある大人」としたが、幅広い年齢層から応募があり、すぐ定員20人の枠が埋まった。このことから「性教育」に関するテーマに幅広い年齢層の多くの方が関心を持っていることが分かった。
ただ、ワークを行った時に、テーマに関連するSEXや妊娠検査薬等の発言が全体的に見られなかったため、基本的な学びを取り入れることを次回に向け検討したい。
また、今回初めてオープンチャットを利用し、参加者同士がつながったり、当協会も含めテーマに関する情報共有ができるようにした。12人が登録しており、今後もこのツールを活用していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑦ジェンダー論基礎講座 ⑧短歌で読む・詠む「わたし」の「からだ」				
目的	日常に潜む違和感についてフェミニズムやジェンダーの視点で考える				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	285	219	66		

■事業の計画

1. 実施内容

- ⑦ ・テーマに沿った専門家による有料連続講座(全3回～4回)
・専門家の講義部分のみ、後日有料配信
- ⑧ ジェンダーを“自分ごと”として考える講座シリーズ「ジェンダーとわたしと」(2021年～)の一環として、ジェンダー論基礎講座の枠に収まらないテーマや、タイムリーな話題を取り上げる講座を実施

2. 事業実施における課題

- ⑦ ・テーマの内容について新しい視点を持った研究者の発掘
・若年層を取り込むための工夫
- ⑧ ・SRHR(Sexual and Reproductive Health and Rights性と生殖に関する健康と権利)やからだの健康について“自分ごと”にする
・『男女共同参画通信』の発展的活用

■実績

⑦および⑧については、いずれも有料講座として実施

⑦テーマ:わたしたちの「キルジョイ」ーフェミニズムに学ぶ、“わきまえ”から自由になるためのヒントー

回数(3) 会場:定員(25) 応募者数(24) 参加者数(24)

定員充足率(96%)

講義部分を後日配信:定員なし 応募者数(41) 後日配信3回分ののべ視聴回数305回(会場参加者の後日配信の視聴含む)

各日とも 14:00～16:30

1. 10月14日(土)フェミニストとして生きるための「キルジョイ」入門ーサラ・アーメッド『フェミニスト・キルジョイ』を読むー

【講師】飯田麻結(東京大学教養学部教養教育高度化機構D&I部門特任講師)

2. 11月23日(木・祝)「キルジョイ」の困難ー〈からかひの政治〉を読み解くー

【講師】堀あきこ(関西大学他非常勤講師)

3. 12月16日(土)「キルジョイ」が描く連帯ー障害とジェンダーをめぐってー

【講師】松波めぐみ(大阪公立大学他非常勤講師)

⑧ワークショップ 短歌で読む・詠む「わたし」の「からだ」

回数(2)

【日時】第1回7月15日(土)14:00~15:45

「からだ」を詠んだ短歌を味わう

定員(40) 応募者数(34) 参加者数(31) 定員充足率(78%)

第2回7月29日(土)14:00~16:00

作った短歌を読みあう

定員(20) 応募者数(17) 参加者数(14) 定員充足率(70%)

【対象】第1回:どなたでも 第2回:35歳ぐらいまでの方

【講師】大森静佳(歌人)

■概要と成果

⑦フェミニズムに興味のある人や、「キルジョイ(場の盛り上がりにも水を差す人・興覚めさせる人)」という馴染みのない言葉について興味を持った人が多く、ほぼ定員に近い集客となった。差別や抑圧に対し「おかしい」と言えないもどかしさを共有し、それぞれの「キルジョイ」について話し合った。講義部分は後日配信も行い、より多くの方にフェミニズムから学ぶ「キルジョイ」について考えるきっかけを提供した。

⑧短歌という媒体を通し、自身の「からだ」について改めて考える機会を提供した。「からだ」を詠んだ短歌を味わうことや、それぞれが作った短歌を味わうことで、単なる短歌鑑賞ではない講座にできた。短歌を作る回では年齢層で対象を絞り、よりリアルなからだに関する感覚や悩みなどを共有できる場とした。ただし、対象外の方の参加希望に応えられなかったことに関しては今後の課題として検討したい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑨デジタル分野における女性活躍推進セミナー				
目的	女性がデジタル分野において個性と能力を十分に発揮しながら、職業生活で活躍できるようにする。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	300	0		

■事業の計画

1. 実施内容

デジタル分野における女性活躍推進について専門家による講演会をオンラインで実施する

2. 事業実施における課題

中小企業の女性活躍における「DX」や「リスキニング」の必要性への理解促進

■実績

デジタル分野における女性活躍推進セミナー【講義編】

デジタル時代を乗り越える！

「中小企業のDX・リスキニングと女性活躍 ～多様な人材が活躍できる組織になるために～」

Zoomによるオンライン講演

回数(1) 定員(100) 応募者数(63) 参加者数(65) [リアルタイム配信](32) [録画配信](33) 視聴回数 68回 定員充足率(65%)

【日時】[リアルタイム配信]10月24日(火)13:30～15:00

[録画配信]10月28日(土)～11月24日(金)17:00

【講師】大嶋寧子(リクルートワークス研究所主任研究員)

【対象】企業の経営層・管理職・リーダー、DXや女性活躍推進に関心のある方

【内容】

- ・これからの社会変化からみた女性活躍とDXの必要性
 - ・中小企業はDXにどう向き合うべきか、DX人材の育て方
 - ・女性活躍にまつわるデータと先行企業の事例
- ～DX/リスキニングと女性活躍の相乗効果を実現するポイントを提示

■概要と成果

これからの社会変化からみた女性活躍とDXの必要性を確認していただくとともに、特に業務の自動化と女性活躍は相互促進関係であり、多様な人が活躍する組織となるために両輪での取り組みが重要かつ効果的であることを理解する機会となった。講演では、参加者が講演を通じて各自の職場の取り組みの進捗をチェックできるような具体的ポイント、DX推進のために必要な視点や考え方など、今後の取組のヒントとなる情報を十分に提供できた。申込に対する参加率は高く、リアルタイム配信の欠席者はほとんどなく、また後日視聴数も申込数を上回っているため、途中離脱されたリアル参加者が再視聴されたことがうかがえる。

満足度はリアルタイム配信93.8%、後日配信100%と高く、好評であった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑩不安を抱える女性を対象とした就業支援事業				
目的	コロナなどにおいて、様々な困難や課題を抱える女性が自立生活を行い、就業できる意欲の向上および既存の女性の就業支援につなぐ				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,000	1000	0		

■事業の計画

1. 実施内容

就業を考えているまたは働くことに不安がある女性を対象に、就業する意欲を向上させる講座を実施する。

2. 事業実施における課題

- ・働くことへの不安を解消し、就業意欲を向上させるプログラム構成
- ・対象者に向けた効果的な広報と集客

■実績

女性のためのしごと準備セミナー

【対象】これから就業を考えている又は働くことに不安がある女性
(市内在住または在学・在勤)

第1回 私に合った仕事と家庭の両立 ～私にちょうどいいバランスを見つけよう～
リラックスタイム ハーブティーでほっこり

定員(20) 応募者数(16) 参加者数(12)

【日時】 9月25日(月)13:30～16:00

【講師】 植野和美(キャリアコンサルタント・公認心理師)

第2回 これから取り組む！スキルアップ ～私の種を育てる～
リラックスタイム ハンドマッサージですっきり

定員(20) 応募者数(20) 参加者数(18)

【日時】 10月29日(日)13:30～16:00

【講師】 植野和美(キャリアコンサルタント・公認心理師)

第3回 今の私がここから始める ライフ&マネープランニング
リラックスタイム ストレッチでゆったり

定員(20) 応募者数(20) 参加者数(16)

【日時】 11月30日(木)13:30～16:00

【講師】 奥村歩美(キャリアコンサルタント・ファイナンシャルプランナー)

■概要と成果

3回の講座から希望の講座を自由に選択できる形で募集した。就業に向け何か準備したいという思いとテーマが合っていたことや講座を選択性にしたこと、ハローワークや区役所等へのチラシ配布が功を奏し、集客が上手くでき、定員になるのが早かった。

参加者からは、「自分自身の現在を見直せて良かった」「自分の価値観や不安なことが明確化できた」「同じ思いの人たちがたくさんいるのが心強かった」という声があり、講座をとおして、抱えていた不安を減らすことができ、前向きになるきっかけとなった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	性暴力被害者支援事業				
目的	大学生を対象に「性暴力」等について学ぶ機会を提供することで、彼らが被害者や加害者にならないための予防教育につなげるとともに、第三者介入ができる人材育成を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	250	161	89		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 大学生を対象に性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の声を届け、性的同意や第三者介入について理解を深めることで、自ら第三者介入ができるよう育成する

2. 事業実施における課題

- ・ 大学との連携と協力

■実績

性的同意&第三者介入ワークショップ

第1回:自分と相手を大切にできる力をつける!「性的同意」ワークショップ

①11月16日(木) 16:55~18:25 会場:龍谷大学

回数(1) 定員(20) 参加者(9 うち学生6、職員3) 定員充足率(45%)

②12月1日(金) 16:10~17:40 会場:京都光華女子大学

回数(1) 定員(20) 参加者(17 うち学生15、教員2) 定員充足率(85%)

【講師】公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員(WWSC Sexual Consent Facilitator)

【対象】有志の大学生と教職員

【連携・協力】龍谷大学・京都光華女子大学

第2回:誰かを守る力をつける!「第三者介入」ワークショップ

③12月9日(土) 13:00~16:00 会場:ウイングス京都

回数(1) 定員(20) 参加者(12 うち学生7、教職員3、当協会職員2) 定員充足率(60%)

【講師】山本潤(茨城県立医療大学助教・看護師・保健師・公認心理師)

[トレーナーパートナー]奥出智行(精神保健福祉士・公認心理師)

[サポーター]公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員(WWSC Sexual Consent Facilitator)

【対象】有志の大学生と教職員

【連携・協力】龍谷大学・京都光華女子大学

■概要と成果

性的同意&第三者介入ワークショップは、第1回を受講していることが第2回受講の必須条件となる。

若者が性暴力の被害者にも加害者にもならないために必要な、「性的同意」と「第三者介入」について学んだ。

第1回は、「性的同意」とは何かを理解し、お互いの気持ちを尊重した同意の取り方を考え、第2回は、「暴力」が起きている・起こりそうな場面で、被害を食い止めるためにアクションできる「第三者」になることを目指し、グループでのロールプレイを通して自分にできるアクションを具体的に考えた。プログラムに長い時間を要するため、授業の枠に収めることができなかったことや第2回の受講の前に第1回を受講していることを条件としているため参加者が少人数となったが、参加した学生はいずれも意欲的で、満足度・理解度はいずれも100%で、アンケートからも理解と行動の変容に効果があったと言える。

第1回で用いた「性的同意」ワークショップの内容は、WWSCのプログラムをベースに、当協会オリジナル版として、大学の授業時間に合わせて90分で実施できる内容に改良(山本氏監修)し、当協会職員のみで講師とファシリテーターを担当した。今後、これを活かした事業展開が可能となり、事業の幅が広がった。

また、関心のある教員も多いことから、学生をサポートする教職員への研修も今後実施していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	女子大生と考える女性活躍				
目的	働き方の選択肢や視野を広げ、キャリアについて考える場を提供し、大学との協働により男女共同参画の加速化をめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	188	68	120		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 中小企業で活躍するロールモデルによる座談会の動画を視聴し、ロールモデルと女子大生が直接交流できる場を提供する
※動画は、前年度に作成

2. 事業実施における課題

- ・ 大学との円滑な連携
- ・ 「就職」に重点を置いたセミナーではなく、働き続けることに意味を見出す機会とする

■実績

座談会の動画視聴&ロールモデルとの交流会

【連携大学】のべ参加者数(184)

・京都華頂大学

【日時】6月7日(水) 10:40~11:40(2限)

受講生 2年生(88) 3年生(9) 計(97)

・京都女子大学

【日時】1月13日(土) 13:00~14:30(3限)

受講生 (87)

うちアンケート回答者 2年生(24) 3年生(12) 4年生(7) リカレント生(4) 計(47)

■概要と成果

各大学とも、動画、交流会の両方において満足度は9割以上となり好評であった。交流会で、それぞれのロールモデルにこれまで働いてきた中での良い経験だけでなく、辛い経験やそれをどう乗り越えたのかなどを率直に話してもらえたことが、学生にとって働く女性のリアルな姿として捉えることができ、これまでよりもはっきりと働くとはどういうことか、どのように働きたいのかをイメージするきっかけとなった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業	事業企画課			
講座名	LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)				
目的	LGBT等の当事者やその周囲の人のための居場所づくり				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	200	70		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ LGBT等の当事者やその周囲の家族や友人等が理解ある空間で集う場「京都まあぶるスペース」を関係団体と連携し、提供する(4回)
また、併せて個別相談会を実施する

2. 事業実施における課題

- ・ ニーズにあったテーマ選択
- ・ 関係団体との円滑な連携
- ・ 市民ぐるみ「多様な性の在り方が尊重される京都」推進ネットワークとの連携

■実績

京都まあぶるスペース&個別相談会

①ライフストーリーを聞く

回数(1) 定員(20) 応募者数(20) 参加者数(17) 定員充足率(85%) / 個別相談(1)

【日時】6月24日(土)14:00~16:00

【講師】 ファシリテーター井上ひとみ(特定非営利活動法人カラフルブランケッツ理事長)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

②恋愛

回数(1) 定員(20) 応募者数(6) 参加者数(5) 定員充足率(25%) / 個別相談(3)(内、2名は25分ずつ相談した)

【日時】 8月1日(火)15:00~17:00

【講師】 ファシリテーター本多まさ(プライドプロジェクト代表)

【対象】 10代から23歳までのLGBT等の方、又はそうかもしれない人

③パートナーシップ宣言制度について

回数(1) 定員(20) 応募者数(10) 参加者数(11)※当日参加(1) 定員充足率(55%)／個別相談(1)

【日時】 10月21日(土)14:00～16:00

【講師】 ファシリテーター大久保 暁(暁project代表)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

④「アライ」の声を聞いてみよう (アライ:LGBT等の当事者を理解し、支援する人)

回数(1) 定員(20) 応募者数(11) 参加者数(12)※当日参加(1) 定員充足率(60%)／個別相談(2)

【日時】 1月20日(土)14:00～16:00

【講師】 ファシリテーター山本超基(関西アライモ実行委員長)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

各回の個別相談は、まあぶるスペースと同じ時間帯に2枠2人分として、1人50分間実施した。

■概要と成果

参加者が昨年度に比べ16人増え、京都市内だけでなく、遠方からも居場所を求めて参加されるなど「京都まあぶるスペース」の認知度があがってきている。

今年度から、初めて「当事者スタッフのライフストーリーを聞く」というテーマで、当事者に人生を語ってもらう手法を取り入れ、カミングアウト後の生活やパートナーとの生活の様子を話してもらったが、ロールモデルとして参考になったと好評だった。また、「アライ」についてもテーマとして初めて取り上げた。参加者の「アライ」への印象が様々であったが、ファシリテーターがそれぞれの意見に耳を傾け、参加者の疑問に答え、これまで「アライ」として感じてきたことや活動に対する思いを伝えたことで参加者の理解につながった。SNSなどで「アライ」に対しての批判的なコメントや、LGBTQが特別視され過ぎているなどの意見を散見するが、参加者から、このような声の根底にある気持ちや不安な部分を直接聞くことができたのは大きな収穫であった。

個別相談会は、毎回1～3人の希望者がいた。「トーク終了後に相談時間を設けてほしい」との意見があったため、来年度は相談時間を1時間遅らせて対応する。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	教養・健康増進事業	事業企画課			
講座名	運動講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたり健康と生きがいを維持できるよう、市民のニーズに応えたさまざまな講座を開催する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	6,870	6,857	13		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 運動講座(8コース×3期=24コース)
- ・ うた講座(5コース×3期=15コース)
- ・ 朗読講座(1クラス×2期)

2. 事業実施における課題

- ・ リピーターによる受講者の確保
- ・ 感染防止対策を講じた安心・安全な場の提供

■実績

<別紙3>「運動実技講座・うた講座・朗読講座」(p60～63)

■概要と成果

①運動実技講座

「ピラティス」3講座「ヨガ」3講座「気功」「フラダンス」は安定して定員を確保できた。7月に実施したバランスヨガ・コンディショニングフローヨガのお試し体験Dayには、それぞれの定員を超える参加があり、その後の秋期の応募につながった。冬期は全講座が満員となり、健康講座への需要が回復していることが伺える。

②うた講座

「ジャズ」「ゴスペル」「愛唱歌」「楽しいコーラス」は、定員30人に近い毎回安定した受講生数を確保した。元々40人定員だったものを今年度は30人にしてしたが、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、申込が増えて落選者もでていたため、来年度から定員を35人に増員する。

③朗読講座

講座の締めくくりである「小さな朗読発表会」は満員の集客となり、受講生の満足度も高く、次期講座の問い合わせにもつながった。リピーター含め安定したクラス運営を維持できているため、新規参加者を確保していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	保育事業		事業企画課		
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育				
目的	講座保育・一時保育事業をNPO等と協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,000	724	276		

■事業の計画

1. 実施内容

保育事業を保育グループマザーゲース・(公社)京都市シルバー人材センターと協働で実施
 ・事業参加者の保育／施設利用者の保育
 4ヵ月以上就学前までの子ども対象

2. 事業実施における課題

- ・ 保育需要の減少を鑑みた体制整備

■実績

〈別紙4〉「保育事業」p64

■概要と成果

午前・午後の保育は保育グループマザーゲースが、夜間の保育は(公社)京都市シルバー人材センターが保育を行った。
 5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけは5類感染症となったが、幼い子どもと接するため、引き続きマスクを着用するなど感染対策に留意して保育を行った。全体の保育回数が前年度よりも56回増加した。内訳としては講座保育が38回、一時保育が18回の増加となった。一時保育のうち相談保育の割合が77%から93%となり、相談保育の回数がかかなり増えた。
 保育した子どもの人数は234人で、前年度の174人から60人増加した。

【主催事業受講者の保育】(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前)

京都市からの受託事業、および自主事業に対して保育を実施した。

【施設利用者の保育】(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前)

図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。

【運営会議】

月1回保育担当者が、マザーゲースと運営会議を行い、保育について情報共有し、安心・安全な保育が実施できるようにした。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	事業企画課			
講座名	①女性のための相談／②男性のための相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	14,188	13,340	848		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談
(電話・面接・女性への暴力相談・法律相談)
- ・ 男性のための相談
(面接・電話相談)
※男性のDV電話相談を男性のための電話相談に拡充

2. 事業実施における課題

- ・ 拡充される男性のための電話相談の円滑な運用
- ・ 男女共同参画の視点を持った相談員の育成

■実績

相談相談受案件数

相談の種類		2023年度	2022年度	前年比	
女性のための 相談	電話	電話相談	872	671	130%
		予約インテーク	116		
	面接	面接相談	671	821	82%
		法律相談	40	42	95%
		暴力相談	98	129	76%
男性のための 相談	電話	電話相談	36	21	171%
		予約インテーク	65		
	面接	面接相談	132	107	123%
合計		2030	1791	113%	

* 予約インテーク…面接予約のための聞き取り

■概要と成果

2023年度の相談件数は2030件を受理し、前年比113%となり、3年ぶりに平時の相談件数(2,000件)に戻った。男性相談では、全体に増加したが、特に電話相談は前年比の171%を実施した。電話相談の冠から「DV」の枠を外したことも影響していると思われる。また、相談員が参加しやすいオンラインでの研修(p37④で記入)には極力参加できる体制を供した。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	①DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害者が、専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、人が本来持つべき自尊感情を取り戻すことにより、心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	228	122	106		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 講義とアドバイザーを交えたグループでの語り合い(全3回)
- ・ 必要に応じてアフター会を実施(3回程度)

2. 事業実施における課題

- ・ 潜在的な対象者へのアプローチと参加者確保
- ・ 関連機関との連携

■実績

DV被害者自立支援講座「わたしが私であるために」
回数(3) 定員(15) のべ参加者数(24) 定員充足率(53%)
【日時】7月8日(土)・22日(土)・8月26日(土) 10:00~12:00
【対象】DV被害を受けた女性で加害者と別居中の方
【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)
【内容】①わたしの身に起きたこと~DVを理解する
②わたしは大切な存在~自己尊重を学ぶ
③わたしは「私」~私の力を取り戻す

アフター会

回数(3) のべ参加者数(14)
【日時】9月16日(土)・10月28日(土)・11月25日(土)
【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)

■概要と成果

昨年から講座内容を全3回で実施。内容も充実したコンパクトになったこと、参加者が応募しやすい回数であったことなどが影響し、今年度も9人の申込み(参加者8人)があった。また、相談室から回復の度合いを確認しながら参加を促した方が4名おられ、半数がタイミングの良い時期に参加できたことで、他の参加者にとっても居心地が良い安心できる場になったようである。メンバー同士の信頼関係も深まり、アフター会への参加も積極的であった。アフター会後にグループ化し自主的な語り合いの場を行っている。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	②トラウマケアのための読書会				
目的	性暴力の被害によりトラウマを抱えている人を対象に、読書会を通し自尊感情を取り戻し心身の回復を促すとともに、安心して集える「居場所」を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	358	275	83		

■事業の計画

1. 実施内容
・ 読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にするセルフ・ケア等を学ぶ
2. 事業実施における課題
・ 参加者にとって安心・安全な場の提供 ・ 関連機関との連携

■実績

<p>トラウマ・ケアの読書会 回数(10) 定員(15) のべ応募者数(120) のべ参加者数(69) 定員充足率(46%) 【日時】※非公開 【対象】DV等女性に対する暴力の被害を経験した女性 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【内容】読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にするセルフ・ケア等を学ぶ 『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』白川 美也子／著 アスク・ヒューマン・ケア／発行 ほか</p>
--

■概要と成果

<p>DVや性暴力の被害によりトラウマを抱えている女性を対象に、専門家の立会いのもと、読書を通じて心身の回復を図るとともに、中長期支援の観点から1年を通じてDV被害者が支援にアクセスでき安心して集える「居場所」を提供し、当事者のゆるやかなつながり作りに取り組んだ。</p> <p>申し込みの際不安定な状態であったり、講座に参加できる状況ではない方の見極めや適切な支援につなぐ必要性の判断については、相談室との連携で対応し、日時・場所等は、担当者が直接確認した参加者のみに伝え、安心安全な場になるよう配慮した。参加者それぞれの回復状態が異なる中、互いの経験を過度に聴き不安を感じさせないために、読書の感想を話すことを前提とした適度な自己開示により、安心・安全な場を維持することができた。当日の遅刻や欠席が多くなりがちだが、「自分のペースで参加しても、次もまたこの場に受け入れてもらえる」と認識されることを大切に、回復の過程を支える場として今後も継続していきたい。</p> <p>立ち上げ当初から同じテキストを使用してきたが、参加者のモチベーションを高め、対象の幅を拡大するため、次年度はテキストを刷新する。</p>
--

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	③大学相談室派遣事業／④相談員研修／⑤他機関の相談受託				
目的	③大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援する ④相談員のスキルアップを図る ⑤他都市の男女共同参画センターの相談の入札に参加する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,200	974	226		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ③佛教大学の委託を受け、学生や教職員対象のハラスメント相談室に相談員2名を派遣する(月5～6回) ④相談員を対象にグループスーパービジョンや研修を実施する ⑤大津市男女共同参画センターの電話相談の入札に参加する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり ・男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み

■実績

<ul style="list-style-type: none"> ③佛教大学においてハラスメント相談室に来所する学生・教職員の相談に対応するため、2名の相談員を派遣した。(木・金曜日 各月3回 12:30～16:30) ④・スーパーバイザーを招きグループスーパービジョンを実施した(年10回) <ul style="list-style-type: none"> ・専門相談連絡会議を実施した(1回) ・女性関連施設相談員・相談事業担当者研修(内閣府主催 オンライン 10プログラム) ・性暴力・配偶者暴力等被害者支援のためのオンライン研修(内閣府主催 オンライン 10プログラム) ⑤大津市男女共同参画センターの電話相談業務を落札し、受託した。
--

■概要と成果

<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学ハラスメント相談室において、学生や教職員の相談に対応した。 ・グループスーパービジョンではスーパーバイザーからのアドバイスをもとに、事例検討を行った。今年度からは後日、相談員で振り返りの時間を取り、内容を深めた。 ・専門相談連絡会議では、相談件数が伸びている「男性相談」をテーマに相談員で協議し、課題や問題を共有した。 ・大津市男女共同参画センターの電話相談として、毎週木曜・金曜日の10:00～16:00まで対応した。
--

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	⑥不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業				
目的	コロナ等による孤独や孤立で不安や困難・課題等を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	8,200	8200	0		

■事業の計画

1. 実施内容
不安を抱える女性に寄り添った相談事業、またその一環として、居場所づくり事業を実施する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・対象に届くための効果的な広報 ・対象に適した情報提供や居場所の提供

■実績

<p>京都市「不安を抱える女性に寄り添った相談事業」受託事業</p> <p>(1) つながる相談室の実施</p> <p>【実施期間】2023年4月1日(土)～2024年3月30日(土)</p> <p>【受理件数】204件</p> <p>(2) つながるスペース</p> <p>① ひとり親女性のための居場所 つながるスペース</p> <p>【対象】20歳未満の子どもがいるひとり親女性(予定も含む)、京都市内在住または在勤・在学</p> <p>第1回 子どもと楽しく暮らす シングルマザーの相談カフェ</p> <p>回数(1) 定員(20) 応募者数(28) 参加者数(20) 定員充足率(100%)</p> <p>【日時】9月9日(土)13:30～15:30</p> <p>【協力団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人 京都市ひとり親家庭福祉連合会 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす ・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘こもれび ・公益財団法人 京都市ユースサービス協会 ・特定非営利活動法人 フードバンク京都(食品提供) <p>【内容】就業の相談・子どもの学習支援・奨学金などひとり親女性の暮らしに役立つ情報提供、支援団体の個別相談、参加者同士の交流会、食品の無料提供</p>

第2回 出張ママカフェ ひとり親女性のためのマネーセミナー

回数(1) 定員(20) 応募者数(49) 参加者数(20) 定員充足率(100%)

【日時】10月7日(土)13:30~15:30

【当協会以外の企画・運営団体】一般社団法人 京都市ひとり親家庭福祉連合会京都市
ひとり親家庭支援センターゆめあす

【講師】久保田あきみ(FPオフィスウーマンプラス代表・ファイナンシャルプランナー・社会保険労務士)

【協力団体】NPO法人フードバンク京都(食品提供)

【内容】物価高に負けない家計管理として、家計管理方法、教育費、貯蓄、老後資金など
ひとり親に役立つマネー情報の提供、食品の無料提供

②若年女性のための居場所 つながるスペース

【対象】10代後半~20代の女性(京都市内在住または在学・在勤)

第1回 自分を知る、自分らしく彩る。7colors,7wills. カラーメイクアップワークショップ

回数(1) 定員(20) 応募者数(20) 参加者数(16) 定員充足率(80%)

【日時】12月2日(土)14:00~15:30

【モデレーター】7NaNatural(ナナナチュラル)

【サポーター】

・特定非営利活動法人happiness

・NPOフラット

・公益財団法人京都市ユースサービス協会

【生理用品提供】NPO法人お客様がいらっしゃいました。

【内容】メイクを使ったワークショップや参加者同士の交流により、今まで使ったことのない
色に挑戦したり、自身の新たな一面を発見するなど、心地よい自分に出会う機会を提供

第2回 リラックスヨガ~意識がかわれば体もかわる~

回数(1) 定員(20) 応募者数(18) 参加者数(13) 定員充足率(65%)

【日時】1月14日(日)14:00~15:30

【当協会以外の企画・運営団体】公益財団法人京都YWCA

【講師】KOZUE

【生理用品提供】NPO法人お客様がいらっしゃいました。

【プレゼント】京都YWCAオリジナル レンジャークッキー

【内容】京都YWCAが運営する居場所食堂YここKitchenで人気の「美ボディ」ワークとし
て、ピラティス・骨盤矯正・ヨガを取り入れたKOZUEメソッドプログラムを実施。いつも頑
張っている心と体をゆるめる場を提供。

③女性のための居場所 つながるスペース

「40~50代からはじめる！非正規シングル女性のための暮らしとお金安心セミナー」

【対象】非正規雇用で働く40~50代のシングル女性(子どものいない方)

回数(1) 定員(15) 応募者数(19) 参加者数(15) 定員充足率(100%)

【日時】3月30日(土)14:00~16:00

【講師】秋口千佳(夢のかけはし株式会社代表)

【行政の支援事業説明】京都市保健福祉局生活福祉課相談支援員

【内容】老後に向けた生活設計や、病気・介護などで働けなくなったときに役立つ公的支
援を学び、これからの暮らし方を確認することで前向きな気持ちになれる場とともに、安
心して支援につながる機会を提供

④勉強会・情報交換会に向けたアンケート調査

次年度の上半期に実施する「不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業勉強会」に向
けて、各団体の支援内容、課題、学びたいこと等を共有するためのアンケート調査を実
施した。

【期間】3月19日(火)~3月26日(火)

【対象】主に女性を対象とした居場所づくりや支援を行う団体 23団体

【方法】インターネットによるアンケート

【回収数】12団体 【回収率】52%

■概要と成果

(1)つながる相談室

相談受理件数はのべ204件で、月平均17件を受理した。令和4年度の月平均との比較では約1割の減少率であった。(令和4年度 月平均19件)相談の主訴では、年間を通して「気分の落ち込み」や「孤独・孤立」等こころの不調の訴えが全体の41%を占めた。「仕事」に関する相談が17%を占め、令和4年度の割合(15%)より増加していることから、就業の場面ではコロナ禍の影響が続いていることが伺えた。

(2)つながるスペース

①ひとり親女性のための居場所

第1回は、子どもの年齢に合わせグループ分けをしたことで、それぞれ共通の課題があり話がしやすいそうだった。子どもの学習支援を不安に思う母親にとって、実際に学習支援をしているユースサービス協会からの具体的なアドバイスは好評だった。

第2回のマネーセミナーには、定員の倍以上の申込があり、物価高によりひとり親女性にとって以前にも増してお金の問題が切実であることがうかがえた。生活費・教育費への関心はもちろん高かったが、老後への不安から資産形成への関心も高まっており、NISAやイデコの解説が好評であった。

②若年女性のための居場所

第1回は、「自分のためのメイク」について考えるためのレクチャー後、グループに別れ参加者同士で対話を軸とした交流を行った。参加者同士で言葉を交わしながらメイクをすることで、普段使わないような色に挑戦したり、お互いのメイクを褒め合ったり、参加者それぞれのエンパワーメントを感じることができた。「行政」「支援」など、若年女性にとって、とっつきにくいものであるが、「メイク」を入り口にして参加者と支援団体をつなげることができた。また支援者同士の連帯も促すことができ、つながるスペースとしての趣旨にかなうものとなった。

第2回は、小学生～35歳を対象とした居場所食堂「YここKitchen」を運営している京都YWCAが「YここKitchen」で定期的実施しているプログラムから、ヨガを中心に、仲間同士で取り組むエクササイズを交えたプログラムを行った。エクササイズの中に自己紹介やコミュニケーションワークが盛り込まれており、自然な交流が生み出される内容となった。

③非正規・シングル女性のための居場所

居場所事業として初めて非正規雇用で働く中高年のシングル女性(子どもがいない人)を対象にした。対象者は、支援制度の狭間に置かれやすいため、活用できる支援メニューや相談先が必要な人に届きにくい。共通する課題として想定していた「困難を直視できない」「困った時に相談できる人がいない」という状況も確認でき、友人とは異なる関係性で話せる場、活用できる支援とつながれる場の必要性を感じた。男女共同参画センターの強みを生かした支援を行っていききたい。

④勉強会・情報交換会に向けたアンケート調査

アンケート調査により、各団体の支援内容や課題、連携の可能性について確認できた。支援を行う中での課題としては、特に下記の3点が共通していた。

- ・運営資金と人員の確保(人材の高齢化、人材育成、人員体制)
- ・医療、福祉等、支援関連機関・団体との連携、ミッションの共有
- ・支援を必要とする人がアクセスできるしくみづくり

また、勉強会で学びたいテーマとしては、「行政の福祉窓口と活用できる施策」が最も高く、次いで「困難女性支援法」「精神疾患」「ケース検討」の要望が高かった。支援の根拠となる新法「困難女性支援法」の理解や、行政の支援メニューと窓口、ケース検討といった支援に役立つ情報共有と支援の質・スキルを高める具体的な内容が求められており、勉強会の内容に反映していききたい。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付		事業企画課		
講座名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談に関わる機関との連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	30	7	23		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回)
- ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議
- ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会
- ・ 京都市域におけるDV被害者支援団体交流会
- ・ 京都ストーカー総合対策ネットワーク連絡会議
- ・ 苦情・要望等処理制度の受付

2. 事業実施における課題

- ・ 各機関同士の連携強化

■実績および■概要と成果

- ・京都市保健福祉局生活福祉部生活福祉課より、「京都市暮らし応援給付金」に係る配偶者やその他親族からの暴力を理由に避難している旨の申出」に関し、聞き取りと確認書の発行業務を受託した。受理件数2件
- ・関係機関との連携会議は通年通り実施した。京都市DV相談支援センターの見学と交流会を実施した。
- ・苦情・要望等処理制度の受付 1件(制度の対象外として処理)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	総務課/事業企画課/総合窓口課			
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	20	5	15		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携
(男女共同参画に関する講座への参加、情報発信)
- ・ 京都市防災危機管理室、地域力推進室防災担当との連携
- ・ 地元との連携強化(高倉小学校の活動紹介(KES活動)、夜間パトロールへの協力等)
- ・ センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催

2. 事業実施における課題

- ・ 各団体との円滑な連携

■実績

- (1) 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携
2月13日(火)京都市男女共同参画市民会議運営懇談会を開催
- (2) 京都市防災危機管理室、地域力推進室防災担当との連携
 - ・ 10月28日(土)京都市総合防災訓練での啓発展示(1回)
 - ・ 12月10日(日)下京区総合防災訓練での「きょうとみんなの防災カード」ワークショップ実施(1回)
 - ・ 京都市防災ポータルサイトへの情報提供
(KYOTOわたしの防災ノート、京都市防災パークページにウイングス京都を掲載)
 - ・ 常設展示やイベント
- (3) 地元との連携強化
 - ・ 高倉小学校の活動紹介(KES活動)
 - ・ 日彰自治連合会への活動参加(夜間巡回パトロール等)
- (4) ロビー常設展示・・・展示団体数のべ7団体

■概要と成果

- (1) 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携
京都市男女共同参画市民会議運営懇談会で、広く「男女共同参画」をテーマに懇談と意見交換を行った。男女共同参画社会の実現に向けた課題、その解消に向けた取組の方向性についての意見の一部を京都市情報館で市民に公開した。
- (2) 京都市防災危機管理室、地域力推進室防災担当との連携により、市民に向け、男女共同参画の視点を取り入れた防災について啓発出来た。
- (3) 日彰自治連合会の会合やパトロールに参加し連携を深めた。
- (4) 利用条件を緩和したことにより、展示団体数が前年度の2団体からのべ7団体に増加した。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ人への暴力根絶について市民に啓発する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	202	204	△ 2		

■事業の計画

1. 実施内容

11月のパープルリボン月間中に、イベントや展示をとおして市民が様々な視点から、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ人への暴力根絶について考える機会を提供する

2. 事業実施における課題

- ・連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催
- ・マジョリティが暴力の問題を主体的に考えられる企画

■実績

「パープルリボン月間2023 “声”をつなぐ」

【期間】11月2日(木)~11月30日(木)場所:1階ロビーほか

・パープルトーク「“声”をつなぐ、私たちのおしゃべり ~社会を動かした女性たちの道のりをたどって~」

11月25日(土)13:00~14:45

【講師】アルテシヤ(作家)、小川たまか(ライター)

会場:定員(30)応募者数(27)参加者数(24)/オンライン:定員(なし)参加者数(106)

・京都市中央青少年活動センターコラボ企画「誰かのピンチ、あなたならどうする?レッツ“5D”アクション!カードガチャ」

11月4日(土)14:30~15:30 定員(なし)参加者数(11)

11月16日(木)16:30~17:30 定員(なし)参加者数(13)

・暴力にNO!頼れる街のサポーター「きょうとパープルマップ」展示

・京都市で暴力に反対する団体のパネル展示

・ブックフェア「暴力にはNO!を言い続けようージェンダーの視点で暴力を考えるー」(再掲)

■概要と成果

・パープルトーク「“声”をつなぐ、私たちのおしゃべり ～社会を動かした女性たちの道のりをたどって～」

今年度のパープルリボン月間のテーマ「“声”をつなぐ」を踏まえ、声を上げ、性暴力に対する社会や刑法へと働きかけてきた“声”に焦点をあてたトークを実施した。小川たまかさんとアルテイシアさんが、近年の法改正に至るまでの“声”や道のり、そして日常の中で第三者として暴力にNOの声を上げる「第三者介入」をはじめとした様々なアイデアを話し合った。「とても満足・満足」と回答した人は会場100%、オンライン96%と大変好評だった。一人ひとりができるアクションを提示できた点も、単なる現状への批判に終わらない前向きな展開を見通す講座にすることができた。

・京都市中央青少年活動センターコラボ企画「誰かのピンチ、あなたならどうする？レッツ“5D”アクション！カードガチャ」

中央青少年活動センターが定期的実施している「なかせいカフェ」での出張イベント。中学生年代～30歳以下の若年層を対象に“第三者介入”の啓発を行った。カードガチャのゲーム性と、身近に起こりうる事例が合わさり、楽しみながらも真剣に取り組む参加者が多く、充実したコラボレーションとなった。

・暴力にNO！頼れる街のサポーター「きょうとパープルマップ」展示

京都市内で暴力防止や支援に取り組む団体をまとめたマップを掲示および配布した。また市内の支援団体によるパネル展示も行った。支援団体を可視化することで、支援を必要とする人はもちろん、これまであまり関心がなかった人にも知ってもらえる機会となった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	市民活動サポート事業				
目的	男女共同参画社会の実現に向けた取組や企画をもつNPOやグループに対し、 助成を行い、地域における男女共同参画の推進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	338	310	28		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 男女共同参画の推進に関わる活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現を目指す多様な取組をサポートする

2. 事業実施における課題

- ・ 市内のNPOやグループの発掘と対象者への効果的な広報
- ・ サポート団体の企画実施に向けた適切な支援

■実績

- 応募のあった4団体のうち、2団体に助成を行った。
- ① Ltank シングル女性:人生後半の住まい部会 110,000円
 - ② 一般社団法人 レイブリ 190,000円

■概要と成果

①シングル女性がゆるく繋がってみる「ごはんたべたらセミナー」

回数(3) 各定員(20) のべ参加者数(62) 定員充足率(103%)

【対象】 50代以降の子どもがいないシングル女性

第1回 巻きずし食べたら「ひとり満点ごはんからだをつくるセミナー」

【日時】 9月30日(土)13:30~16:30

【講師】 馬場喜保子(管理栄養士「京都 食の歳時記に学ぶ」主宰)

参加者(16)

第2回 餃子をたべたら「私の終活どうするセミナー」

【日時】 11月25日(土)13:30~16:30

【講師】 小笹美和(笑顔相続サロン®京都~ここは一と相続サポート事務所代表・相続診断士)

参加者(24)

第3回 お鍋をたべたら「人生後半これからどう住む 座談会・交流会」

【日時】 2月10日(土)13:30~16:30

【講師】 村上善美(一級建築士)／絹川麻理(高齢者住環境の元研究者・コミュニティプラットフォームの運営者)／郷原美佐子(一級建築士・インテリアコーディネーター・福祉住環境コーディネーター)

参加者(22)

【内容】前半は受講生と一緒に調理や食事をする中で仲間づくりを行った。後半は各回のテーマ「食事と健康」「終活」「住まい」にあわせて講師が講義を行い、参加者同士で意見交換を行った。

事業担当者のアドバイスをもとに団体側が再度企画を練り直すことにより、集客も上手くでき、参加者からも高評価を得た。また、今回の事業で参加者のニーズを把握することにより、団体として、次の展開を考えられるようになった。

②レイブリ LGBTQ+ フィルムフェスティバル「恋人はアンバー」

回数(1) 定員(240) 参加者数(65) 定員充足率(27%)

【日時】2月17日(土)13:00~16:00

【上映映画】「DATING AMBER(恋人はアンバー)」

期間限定で恋人のふりをするようになったゲイとレズビアンの高校生が、保守的な田舎町で自分らしく生きるためにもがく姿を描いた青春映画

【トークショー】「もっと知りたい！伝えたい！Z世代的LGBTQ+価値観」

【ゲスト】本多まさ(プライドプロジェクト代表)

【登壇者】生駒萌杏(レイブリ代表)、椎木里佳(株式会社AMF代表取締役兼レイブリ理事)、永井柚羽・小笠原真央(レイブリメンバー)

【内容】

映画上映の後のトークショーでは、LGBT当事者であるゲスト1名と主催団体のメンバーが映画の感想やそれぞれの目線でのジェンダーやLGBTQ+についての考えを発信し、「当事者だからとフィルターを通して見るのではなく、個人として接することが大切。」と伝えた。

企画としては良かったが、思うように集客が出来なかった。大学生が主要メンバーで、初めて大きな会場でイベントを実施するということを鑑み、広報、集客のサポートをもっとする必要があった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	防災における男女共同参画の視点を持った人材育成講座				
目的	防災分野で男女共同参画の視点を持って活躍できる人材を育成する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	310	60	250		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 防災に関わる団体と連携し「きょうとみんなの防災カード」等を用いて男女共同参画の視点で防災、復興について学ぶ

2. 事業実施における課題

- ・ 防災関連団体との連携
- ・ 地域での「きょうとみんなの防災カード」の普及促進

■実績

①講演＆『きょうとみんなの防災カード』ワークショップ

回数(1) 定員(30) 応募者数(23) 参加者数(20) 定員充足率(66%)

【日時】11月19日(日)13:30～16:00

【会場】京都テルサ東館2階セミナー室

【講師】斉藤容子(関西国際大学客員教授)

【進行とワークショップ】久保智里(公益財団法人京都市男女共同参画推進協会)

[主催]京都府男女共同参画センター なら京都/京都市男女共同参画センター ウィングス京都

[共催]福知山市男女共同参画センター/舞鶴市男女共同参画センター フレアス舞鶴/綾部市男女共同参画センター/宇治市男女共同参画支援センター/城陽市男女共同参画支援センター ぱれっとJOYO/向日市女性活躍センター あすもあ/長岡京市男女共同参画センター “いこ～る”プラス/八幡市女性ルーム/京田辺市女性交流支援ルーム ポケット/京丹後市女性センター/木津川市女性センター

②多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～

回数(1) 定員(50) 応募者数(58) 参加者数(46) 定員充足率(92%)

【日時】2月10日(土)13:30～16:00

【会場】ひと・まち交流館京都3階 第4・5会議室

【対象】地域活動に従事している方やボランティア、防災に関心のある方

【講師】齊藤容子(関西国際大学客員教授)
武山世里子(社会福祉法人ミッションからしだね)
大久保暁(暁project合同会社CEO)

【主催】京都市災害ボランティアセンター(運営:京都市・社会福祉法人京都市社会福祉協議会・特定非営利活動法人きょうとNPOセンター)／京都市男女共同参画センターウイングス京都(運営:公益財団法人京都市男女共同参画推進協会)／京都市福祉ボランティアセンター(運営:社会福祉法人京都市社会福祉協議会)

【共催】各区ボランティアセンター

■概要と成果

①「きょうとみんなの防災カード」を使って災害時に発生するさまざまな困りごとへの対応や備えを具体的に考えるワークショップを京都府男女共同参画センターとの連携による事業として実施した。

20～60歳代の防災に関心を寄せる市民が参加され、意見が活発に交わされる充実したワークショップとなった。アンケートでは満足度・理解度とも100%、自身の活動との関連性も高いとの回答を得られ、効果的な事業となった。

②災害時にボランティアとして活動する人材を主な対象に、災害時に複合的な困難を抱えやすくなる高齢者、障害者、女性、性的少数者等に必要な支援を学び、平時からできる具体的な備えを考える講義とワークショップを実施した。

満足度92.7%・理解度90%とともに高く、地域の課題を共有し、参加者の意欲を高めることができた一方、もう少し講師の話を聴きたかったという声も多く、時間をとって丁寧に伝える必要性を感じた。

本事業については、好事例として、国立女性教育会館(NWEC)が開催する令和5年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修」に登壇し事例報告を行った他、『令和5年度女性のキャリア形成や意思決定過程への参画についての調査研究 男女共同参画センターの「地域の女性リーダー」育成に関わる取組』事例集に掲載された。また、令和6年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修」にも事例報告のため登壇を予定している。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	88	80	8		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う
- ・ 講座から発生したグループの支援を行う

2. 事業実施における課題

- ・ 協働団体との連携
- ・ グループの自立化を目指したサポート体制

■実績

共催事業 4件
後援事業 なし

■概要と成果

共催事業については、これまでの事業で関係性のある4つの団体から申請があった。性犯罪・性暴力、女性の健康、女性の自立援助と多世代・多文化共生など、いずれも男女共同参画の視点に基いた事業であり、ミッションを共有して事業を進めることができた。
(別紙5)「2023年度 共催・後援事業」(P.65)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務	総務課・総合窓口課			
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	39,728	34,186	5,542		

■事業の計画

1. 実施内容

- (1) 施設の維持管理
 - ・京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策
- (2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体の育成、支援のため、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)
 - ・コンタクト空ケース回収
 - ・紙の使用(A4用紙) 基準年比100%未満
 - ・環境保全 近隣の高倉小学校の「ヒオウギ」を育て守る活動を紹介し、施設利用者への環境保全への啓発を行う
- (4) サービス向上
 - ・利用者の利便性に配慮した予約方法の検討
 - ・より使いやすい施設利用の検討及び実施
 - ・利用者アンケートによるニーズの把握、改善
- (5) 危機管理・消防訓練・防災計画
 - ・避難訓練の実施と、防災マニュアルの適宜見直し
 - ・避難所・妊産婦等福祉避難所開設の準備(行政・自治連合会との連携、訓練への参加・備蓄品の保管等)

2. 事業実施における課題

- ・ 安心・安全な利用環境に向けた修繕個所のチェックと提案
- ・ 利用者の利便性に配慮した予約方法の確立

■実績

- (1) 京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理のための保守点検・修繕を行った。また、大規模な修繕については、京都市へ報告、修繕の依頼を行った。
- (2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行った。
＜目的利用登録団体数＞ 46 団体（前年度:49団体）
＜目的利用事業数＞ 2 件（前年度:4件）
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)
確認審査合格
- (4) サービス向上
一般利用団体新規登録の拡大に向け、対象となる団体(57団体)に案内を配布し、応募があった団体(44件)の新規登録を行った。
- (5) 危機管理・消防訓練・防災計画
 - ・ 新任職員を対象として、避難経路の確認等の研修を行った。(4月1日)
 - ・ 京都市ユースサービス協会、委託業者と連携し、全館避難訓練を実施した。(2月28日)

■概要と成果

- (1) 設備、機器の保守・点検を行い、必要に応じて修繕を行った。クーリングタワーの水漏れ、セミナー室のパーテーションの故障等、大規模なについては京都市の予算で対応した。
- (2) 今年度も高齢化等により解散する団体があり、目的利用登録団体数が減少した。新規登録団体の獲得が今後の課題である。
- (3) 省資源化
 - ・コンタクト空ケース回収 目標達成率 318.6%
 - ・紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比 97.7%啓発活動
 - ・近隣の高倉小学校の「ヒオウギ」を育て守る活動を紹介し、施設利用者への環境保全への啓発を行った。
- (4) 一般利用団体のうち、登録要件を満たす新規の団体に対し登録カードを発行し、利便性の向上につなげた。
- (5) コロナ禍によって中止していた全館避難訓練を再開した。

収益	(単位:千円)				
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体以外に対する施設管理業務	総務課・総合窓口課			
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	67,647	58,209	9,438		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の維持管理(再掲) (2) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出しを行う (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲) (4) サービス向上(再掲) (5) センターの認知度向上 SNSを使った広報の充実(Facebook・Twitter等の活用) (6) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層利用者の開拓に向けたSNSを活用した情報提供

■実績

<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の維持管理(再掲) (2) 施設利用率(日数利用率) 80.7% (前年度 79.1%) 入館者数 347,308人 (前年度 325,812人) ＜別紙6-1＞「2023年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(p.66) ＜別紙6-2＞「2023年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)」 (p.67) (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲) (4) サービス向上(再掲) (5) 事業や施設に関する情報をSNSで発信し、センターの認知度向上に努めた。 (6) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)

■概要と成果

<p>利用率は前年度より1.6%増となった。入館者数も約7%回復し、徐々にコロナ禍以前に戻りつつあるが、過去最も多かった、利用率約90%、入館者数約50万人を目標として、施設予約方法の利便性の向上を検討し、更なる利用率の向上を目指す。</p>

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	9,198	7,411	1,787		

■事業の計画

1. 実施内容

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員・理事・監事の改選
 - ・ 評議員会 年1回 6月
 - ・ 理事会 年2回 5・3月
 - ・ 臨時理事会 1回(予定)
 - ・ 業務執行理事会 年2回 5・3月
 各会議は上記以外に臨時に開催する場合もある
- (2) 組織
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ センターのあり方見直しに関する京都市との協議・調整
 - ・ 情報公開
 - ・ 個人情報保護の取り扱い
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 職員研修の実施
 - ・ 人事評価制度の適正な実施
 - ・ 適正な労務管理
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 事業計画、事業報告の提出

2. 事業実施における課題

- ・ 長期的な運営を見据えた中期経営計画の策定

■実績

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 6月22日(木)
 - ・ 理事会 第1回 5月26日(金)、臨時理事会 6月22日(木)
第2回 3月25日(月)
 - ・ 業務執行理事会 5月11日(木)、3月11日(月)
- (2) 組織 <別紙7>「組織体制」(p.68)
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ 情報公開 6件
 - ・ 個人情報保護の取り扱い 問題なく運用
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 人事評価 2022年度後期 2023年5月実施
2023年度前期 2023年11月実施
 - ・ 研修
<別紙8>「2023年度研修一覧」(p.69)
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 2022年度事業報告 2023年6月29日提出
 - ・ 2023年度事業計画 2024年3月31日提出

■概要と成果

職員の高齢化を見据え、今後も安定した運営を行っていくための組織体制の強化を目的として、2021年10月に採用した臨時職員1人を2023年4月から嘱託職員として採用した。一方で、2024年2月に若手のプロパー職員1人が退職したため、業務分担の見直しや課を越えた協力体制による業務の着実な遂行を行っていきたい。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	収益の安定と収支相償				
	予算額(再掲)	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	-	-	-		

■事業の計画

1. 実施内容

収益の安定

- ・ 貸会場の稼働率の回復
- ・ オンラインを活用した自主事業の充実
- ・ 発行物の販売等による収益確保
- ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託
- ・ 補助金・助成金等の積極的活用
- ・ 寄付金の増収のための広報、営業

2. 事業実施における課題

- ・ コロナ対策や施設老朽化への対応
- ・ 稼働率向上のための取組み
- ・ 事業収益の拡大
- ・ 寄付金の増収
- ・ 収支の均衡

■実績

- ・ 施設利用
日数利用率 80.7%(前年度 79.1%)
- ・ インターネットを活用した事業展開により、収益の確保に努めた
自主事業(ジェンダー論基礎講座)の配信
ECサイトによる発行物等の販売(ジェンダーハンドブック、きょうとみんなの防災カード)
- ・ 他機関からの事業の受託
不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業(京都市)
不安を抱える女性を対象とした就業支援事業(京都市)
デジタル分野における女性活躍推進セミナー(京都市)
佛教大学ハラスメント相談業務(佛教大学)
大津市男女共同参画センター電話相談業務(大津市)

■概要と成果

京都市からの指定管理以外の事業、大津市の相談事業の受託の獲得により、3期続けて収支状況の改善ができたが、赤字決算は続いており、引き続き収益の確保に努めつつ、経費削減にも取り組み、収支の均衡を目指したい。